

益城の文化財 (38)

ほうぎゅう 放牛地蔵 (古閑)

【 ナマシャー 氷の張りよー ナマシャー 氷の張りよー

当番組の人が一番鶏の鳴かない凍つく冬の夜空に、威勢のいい触れ声が巡回する。二回目が夜明け前に、また「マナシャー 氷の張りよー もう参らっしゃれー」と辻つじに触れ回る。

地蔵祭りはその年当番になった組が祭祀(さいし)を司り、ご馳走を作って非番組の者を招待する。寺の和尚が来て朝晩2回の読経をした。

この日だけは酒を親椀一杯と汁椀一杯はどうしても飲まねばならなかった。村人は一人残らず、ぐでんぐでんに酔った。酔えば全員が歌い踊り、声高くしゃべり、一年間の積もった思いを吐き出した。

これが旧10月24日の古閑の先祖供養法会だった。地蔵祭りは、正月の祈願祭9月の報恩感謝祭と年3回の村あげての一大行事だった】

以上、郷土史家 永田氏の文章を引用しました。

享保15(1730)年、放牛和尚が古閑に来て、77体目の地蔵建立を勧め、祭りの作法を村人に教えたのでした。引用文の触れ声「ナマス」NAMASUは、梵語(帰依)で料理の酢和えとの掛け言葉だったのです。ナマスが凍ると

は、信仰心が冷えていないか、己を問い直す共同体の締めくくりであり、新しい生まれ変わりの日だったのです。

道端の放牛地蔵が、地蔵祭りや法会に込められた意味を語りかけているのです。

参考文献 『ましき広報』 昭和53年4月号



古閑放牛地蔵

益城町文化財保護委員会

文化会館

イベントスポット

益城町文化会館自主事業

世良公則アンフラグドソロライブ

SERA O-Kiraku LIVE 2009

7月25日(土)

■開場／午後6:00

■開演／午後6:30

【入場料(全席指定)】

●一般: 4,000円(当日4,500円)

●高校生以下・会員: 3,500円(当日4,000円)

【チケット発売日】

5月30日(土) 午前10:00から



■主催／益城町・益城町教育委員会

■協力／オフセンター

■前売券完売の場合、当日券はありません。

■未就学児の入場はお断りします。就学前のお子様の託児を実施します。

ご希望の方は7月18日(土)午後5時までに文化会館にお申し込みください。

■障がいがある方は、優遇制度があります。詳しくはお問い合わせください。

■チケット発売所／益城町文化会館・熊日プレイガイド・熊本交通センター・ムサシプラザ
・益城町内各郵便局・JA上益城広安支所・のぐち酒店(広崎)

●問い合わせ先 益城町文化会館 TEL 096-286-1511

<http://www.town.mashiki.kumamoto.jp/bunka/>

空の玄関口

益城町



広報ましき

2009. 5月号 No. 392

発行／益城町

編集／秘書広報課

〒861-2295

熊本県上益城郡益城町宮園702

TEL 096-286-3111

FAX 096-286-4523

<http://www.town.mashiki.kumamoto.jp/>
<携帯サイト>

<http://www.town.mashiki.kumamoto.jp/mobile/>

印刷／(株)城野印刷所

本紙は再生紙を使用しています